

## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立第三中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1年	総合	防災学習	浜田市役所 まちづくりセンター 地域防災士
ねらい	日本が災害大国だということを知り、災害に対する意識を高め、災害発生時に自分や他人の安全を確保するための対処法を知る。		
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>日本で起きた過去の災害について調べ学習をする。浜田市役所の方から災害について話を聞くことや、避難所生活空間の設営や備蓄品の紹介、災害食の試食を行う。</p> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) まちづくりセンターや地域防災士をはじめとする地域の方々と共に、防災について楽しみながら学び、共に生きることの重要性に気づく。そして、災害発生時に自分はもちろん、他人の安全も確保するために自分たちが動かなければならないという意識を持たせる。</p> <p>(学力育成の視点から) 災害や防災に関する基本的な知識や、普段から備えておくことの必要性を理解し、家族など周りの人に伝えることができる。また、そのようなことを実際に行動に移すことができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) 地域の方との活動を通して、自分たちが地域の一員であるという意識を持つとともに、将来周囲の人と協力しながら、地域に貢献したいという意識を持ち始めた。</p> <p>(学力育成の視点から) 地域の防災士の方にご協力いただき、避難所生活空間の設営体験を行うことができた。実際に災害が発生した場合、本校が避難所になるため、具体的にどのように動いたらよいかを知ることができた。また、どのような備蓄品をどれだけ用意しておかなければならないのか、実際に商品を見ながら確認することができた。</p> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <p>継続的に防災学習で学んだことに触れ、考えたことや行動に移そうと思っていたことを再度確認できるようにする。また、子どもたちがより自分事として考えられるように今後も活動内容の改善に努める。</p>			

\*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)